

「福祉」×「ものづくり」×「地域づくり」地域とつながるものづくり 商品の価値を伝えるデザイン

福祉団体のみなさん 商品パッケージ、販売の仕方、広報など悩みはありませんか？

福祉団体がものづくりを通して地域とつながるために

デザインで商品の価値を伝えるコツや考え方を、いぶき福祉会（岐阜県）の実践から学びます



【社会福祉法人いぶき福祉会の商品例】

日時：2021年4月17日（土）

13:00～15:00

参加無料

形式：オンライン（zoom）

第1部：講演「商品の価値を伝えるデザイン」

講師 山本友美さん 社会福祉法人いぶき福祉会ブランドマネージャー



第2部：ワークショップ 参加団体の商品についてみんなで一緒に考えよう！

※ 団体は、申込み時に商品に関するアンケートにご回答ください（裏面参照）

※ 商品アドバイスを希望されない団体も講座・ワークショップにご参加いただけます

定員：20名（「大きなテーブル」に参加する福祉団体、NPO、関心のある市民）

申込み：info@minnade.org

名前・団体名・電話番号・アンケート回答を添えてメールで申込み（4月7日申込み締切）

【問合せ】四街道市みんなで地域づくりセンター（四街道市政策推進課分室）

tel043-304-7065 fax043-422-7051

商品の価値を伝えるデザイン

【商品に関する事前アンケート】

自分の団体の商品について、困っていることアドバイスが欲しいことを募集します！

商品アドバイスをご希望の団体は、以下の項目のご回答を添えて、メールにてお申込みください。

1. 商品名、価格
2. 商品の写真と裏シール(原材料表記)の写真
3. 商品の特徴
4. 成り立ちやこだわっていること
5. こうなったらいいな…と思うこと
6. 困っていることやアドバイスがほしいこと

講座内で、参加者のみなさんと商品やアイデア、他団体の工夫など共有、知恵を出し合ひましょう。

講師からは、デザインの視点から取り入れやすいアドバイスをいただきます。

※ 商品アドバイスを希望されない団体も講座・ワークショップにご参加いただけます

講師プロフィール

山本 友美 (やまもとともみ)

社会福祉法人いぶき福祉会ブランドマネージャー

岐阜市在住。オーダーカーテン業を営む実家の仕事場が子どもの頃の遊び場。

生地や見本帳のインテリア写真に心ときめかせ、10代の頃から工業用ミシンで

バッグや小物を夢中でつくる。その経験から何かを作り出すこと、デザインすることに強く惹かれるようになる。

デザイン専門学校卒業後イギリスに半年留学。名古屋の事務所でグラフィックデザイナーとして勤務。

結婚、出産を経て岐阜へUターン。子どもの保育園入園を期にフリーランスで復帰。広告全般、様々な媒体

のデザインを手がける。2015年より社会福祉法人いぶき福祉会でブランドマネージャーとして従事。広

報や商品開発に留まらず、福祉と社会をつなぐモノや場づくりに魅力を感じ力を注いでいる。

趣味は海外サッカー観戦。

